

第1回オープンセッションのご案内

中小企業でもできる！
協働ロボット導入のポイントと事例紹介

開催日

2025年

8月1日(金)

13:30~17:00

人間と同じエリアで作業可能な協働ロボットは人材不足解消や生産性向上に貢献すると期待されています。協働ロボットを導入、活用している中小企業とその導入をサポートしたメーカーによる事例紹介、専門家の講演や講師との議論をとおして協働ロボット導入のポイントを学ぶ機会を提供します！

講演 & オープンディスカッション

中小企業のロボット導入をテーマに、事例と専門家の知見を交えた講演と参加型ディスカッションを開催します

■ 講演1 株式会社有川製作所 代表取締役社長 有川 富貴 氏 (13:35~14:05)

○小人の靴屋プロジェクト ~自動化で魅力ある企業へ~

■ 講演2 オムロン株式会社 ロボット日本事業部 事業部長 福井 聡 氏 (14:05~14:35)

○ロボットと一緒に働く時代へ ~小人の靴屋が示す中小企業の新しいカタチへ~

■ 講演3 ヒューマテックジャパン株式会社

代表取締役 永井 伸幸 氏 (14:50~15:10)

○自分たちの手でロボット導入を成功させよう

■ オープンディスカッション (15:10~15:40)

■ 知の拠点あいち 見学会 (希望者のみ・先着順・定員45名) (16:00~17:00)

ポスターセッションも開催！

協働ロボット関連企業のポスターセッションを会場内に設置します。

開催時刻

①14:35~14:50

②15:40~16:00

※写真は過去の様子



開催概要

日 時 2025 年 8 月 1 日(金) 13:30 ~ 17:00

会 場 あいち産業科学技術総合センター 1階 講習会室 (愛知県豊田市八草町秋合1267-1)

※名古屋駅から電車で50分、東名名古屋ICから車で30分

対象者

- ・ 製造業を営む企業の経営者・担当者
- ・ 協働ロボットに関心のあるSIer企業や支援機関
- ・ あいちロボット産業クラスター推進協議会の会員

定 員

60名(申込先着順、参加費無料)

参加お申し込みはこちらの二次元コードから
(申込締め切りは7月25日(金)まで！)



詳細は裏面へ



講師紹介



株式会社有川製作所

代表取締役社長 有川富貴 氏

小人の靴屋プロジェクト ～自動化で魅力ある企業～

株式会社有川製作所は、昭和15年にスタートした金型設計製作と金属プレス加工の専門企業です。プレス加工でありながら小ロット多品種生産を得意としており、また、独自の金型技術と高精度の金型加工技術に基づいた工法転換提案を得意としています。

また、【ものづくりの未来を創る】をビジョンとし、ものづくりの技術・ロボット技術・デジタル技術を融合させた新たなづくりの未来を創造しています。



オムロン株式会社

インダストリアルオートメーション
ビジネスカンパニー ロボット事業本部
ロボット日本事業部 事業部長 福井聡 氏

ロボットと一緒に働く時代へ ～小人の靴屋が示す中小企業の新しいカタチ～

オムロンのロボット事業は、中小製造業の自動化を支援しています。人と一緒に働ける「協調ロボット」を使い、作業の効率化や人手不足の解消をサポート。「機械にできることは機械にまかせ、人は創造的な仕事を」という創業者の考えのもと、現場の課題と一緒に解決し、日本のものづくりを元気にするお手伝いをしています。



ヒューマテックジャパン株式会社

代表取締役 永井伸幸 氏

自分たちの手でロボット導入を 成功させよう

株式会社バイナス取締役技術部長として、長年ロボットSier業界に携わり、産業用ロボットの導入やコンサルティング、人材育成に携わる。2024年ヒューマテックジャパン株式会社を設立。

産業用ロボットに関する数多くのインストラクターや講師を歴任。経済産業省の調査事業にて「ロボット導入事前チェックシート」の作成に携わる。



知の拠点あいち見学会について



知の拠点あいちとは、付加価値の高いモノづくり技術を支援するため、最先端の研究開発拠点として整備されました。大学等の研究シーズをいち早く企業の製品化へと橋渡しする産学行政連携による共同研究や産業界の技術ニーズに対応した技術開発支援を行います。（詳細は、以下URL及びQRコード参照）

見学会では、電子顕微鏡などナノテク分析機器を揃える「あいち産業科学技術センター」やナノレベルの先端計測分析施設「あいちシンクロトロン光センター」をご案内します。



<https://www.chinokyoten.pref.aichi.jp/>



あいちロボット産業クラスター推進協議会とは



ロボット産業を自動車・航空宇宙産業に次ぐ第3の柱として大きく育てるべく、産学行政が連携して競争力あるロボット技術・製品の創出を促し、開発と生産の拠点を形成するとともに、ロボットの活用による県内産業の高度化や地域課題の解決を推進を進めることにより、ロボットを「作り」「使う」世界的な先進地とすることを目的としています。

団体開発側・利用側・支援機関など、688社・団体（2025年5月末現在）の会員が入会しています。協議会の詳細や入会方法は、以下Webページを御覧ください（QRコード参照）。



<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyoshinko/>



参加・お申し込み方法



下記URLもしくは二次元コードからアクセスし、必要な項目を入力し、お申し込みください。（申込締め切りは7月25日(金)まで）

※システムを使用できる環境にない場合は、問合せ先へ御相談ください。



会場へのアクセス

＜公共交通機関＞

名古屋（地下鉄東山線）→藤が丘（東部丘陵線リモノ）→陶磁資料館南（50分）

＜お車＞

名古屋瀬戸道路長久手ICから東へ約3km、猿投グリーンロード八草ICから西へ約800m



問い合わせ先

参加申込・実施内容に関すること

運営：JellyWare株式会社（担当：西脇）

メール：info@jellyware.jp

事業全般に関すること

愛知県 経済産業局 産業部 産業振興課

ロボット産業グループ 担当：泉谷、花井

電話：052-954-6352 メール：sangyoshinko@pref.aichi.lg.jp